

■ブラジル：2050年までの長期エネルギー計画を策定へ

鉱山エネルギー省（MME）は2014年11月14日、2050年までの長期エネルギー計画（PNE 2050：Plano Nacional de Energia 2050）の策定に向けて関係機関が検討に入ったと発表した。検討会には、MMEの他、電力規制機関Aneelやエネルギー調査公社（EPE）の各担当責任者が参加する。ブラジルでは、国内初の長期エネルギー計画である「PNE 2030」が2007年にまとめられた。PNE 2050では、長期的に増加する需要に対応してどのようにエネルギーを確保していくかという課題に対するシナリオが求められている。風力や太陽光などの再生可能エネルギーの導入、シェールガスの活用、気候変動対策、将来にわたる社会経済の変化への対応などが検討されると見られる。